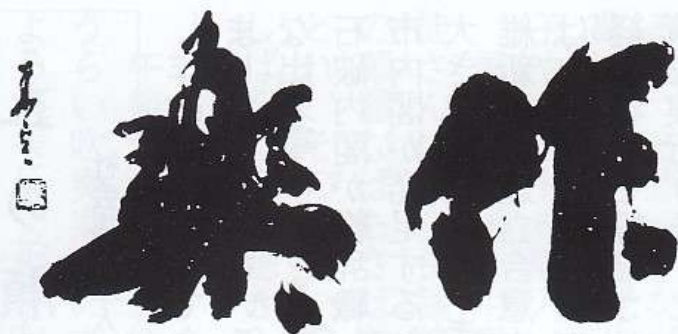




第261号

令和7年12月20日号

社会福祉法人 一誠福祉会

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5115・FAX (0532) 48-7811

愛知大学吹奏楽団の学生さんによる演奏慰問 12月6日 デイサービスセンター作楽荘の利用者様と一緒に

目 次

随想 年の瀬に思う……………2	社会福祉法人一誠福祉会理事長 滝川 一 亮
地域交流 茶道を通して心を通わす……………3	(福)一誠福祉会後援会豊橋副会長 滝川 裕治
人模様 桜守る仲間ともう一度……………4	社会福祉法人一誠福祉会評議員 松井 章泰
回顧 2025年の活動を振り返る……………5	社会福祉法人一誠福祉会総務部長 青山 勉
イベント 新たな試みの秋祭り……………6	特別養護老人ホーム作楽荘事務員 小林 彩美
木の花会 職員旅行でリフレッシュ……………7	特別養護老人ホーム作楽荘事務員 安形 百絵
施設だより……………8	
*作楽荘……………8	
*感染蔓延の季節 看護師 水野 京子	
*ショートステイ作楽荘……………9	
*不安と安心 介護士副主任 久保田温美	
*美光ハイム……………10	
*美光喫茶と自己紹介 介護士 滝川 和良	
*倶楽荘……………11	
*秋の味覚 介護士 田中 友梨	
*GHくらら……………12	
*秋の合同運動会 介護士 本田美由紀	
*スズ楽荘……………13	
*笑顔の運動会 介護士 二見 広子	
*ベルヴューハイツ……………14	
*家族と笑顔の瞬間 介護士副主任 湯浅 順一	
*文化祭でお茶を嗜んで 介護士 杉浦 智彌	
*DSC吉かわ……………15	
*春 夏 秋 冬 介護士 市川 知恵	
*麗楽荘……………16	
*麗楽荘での交流 介護士 酒井 優斗	
*デイサービス麗楽荘……………17	
*レクリエーションの重要性 介護士 峯野 愛香	
*和光ハイム……………18	
*バスハイムで良き二日を相談員 川上 裕之	
*GHくらら……………19	
*秋の大運動会 介護士 伊藤 彩乃	
*奇楽荘……………20	
*輪投げ大会 介護士 田中 綾乃	
*GHくらら……………21	
*麗楽荘に参加して 介護士 石橋加奈子	
施設日誌／編集後記……………15	

随 想

年の瀬に思う

社会福祉法人一誠福祉会 理事長 滝川 一 亮

年の瀬も迫ってまいりました。今年もいろいろな出来事がありました。石破内閣が総辞職し、高市内閣が発足するという大きな変化がありました。維新との連立合意文書には「病院及び介護施設の経営状況を好転させる施策を実行する」という項目が挙げられており、今後の介護業界にとって明るいニュースとなりました。話は変わりますが、年齢を重ねたせいか、あつという間に1年が終わってしまう様になりました。単調な日々を過ごし、心から感動する場面が少なくなってしまうのがその一因と考え、いままで

興味の無かった分野にも目を向けるように心掛けています。今年は以前から好きだったイラストレーター鈴木英人さんの作品集を買ったり、気に入ったイラスト（本物ではなくポスターですが）を額に入れて部屋に飾ってみました。

振り返りますと、初めて作品に触れて興味を持ったのは、たしか中学生の頃、エアチェックのために時々購入していたラジカセ雑誌「FEM STATION」の表紙だったと思います。社会人になってからは山下達郎さんのレコードジャケットや車雑誌「CAR and Driver」の表紙で見か

け、光と影の繊細な表現や、透明感のある色彩と華麗でリアルなタッチがとても印象的だったのを覚えています。そんな中、今年は何と地元企業の働きかけで、豊橋市美術館に於いて11月1日から1か月間「風と光のアート 鈴木英人の世界展」が開催される運びとなりました。デビュー45周年を記念して過去最大規模の300点の展示があるという話だったので、彼の世界観を体験しようと思いかけてました。偶然にも訪れた日が期間中1回だけ開催されたサイン会の日で、人がほとんどいない時間帯だったため、サインだけでなく恐れ多くも握手までして頂きました。まさか作品集を買い始めた年に豊橋の地でご本人に

お会いできるとは思っていなかったもので、その日は久しく感じた事の無い至福の一日となりました。何気ない日常が送れるだけでもありがたいですが、今回の様な幸運に巡り会うとより充実した人生になります。当法人をご利用される皆様にも健康やかな日々を過ごし、たくさん感動して頂ける機会を作っていける様に職員一同創意工夫していきたいと思えます。

本年は皆様方からの過分なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。来年も、当法人の経営理念である「ノーマライゼーション」の実現に取り組んでまいる所存です。

良いお年を
お迎えください。



地域交流

茶道を通して心を通わす

(福)一誠福祉会 後援会豊橋副会長 滝 川 裕 治

令和 7 年11月3日の文化の日の催し、作楽荘での「秋まつり」のイベントに、後援会豊橋として参画させていただき、茶会を開催致しました。

この茶会では作楽荘の入所者様やそのご家族様、また近隣住民の皆様がご参加され、温かいお抹茶とお菓子を提供させていただきました。また、茶道具で美術鑑賞を楽しんで頂きました。

文化の日当日は、秋晴れの良い日になりました。会場の1階集会室に紅白幕を張り、野点用の朱傘に、宗徧吉田流会長、亀山宗法老師筆の「喫茶去

(きつぎょ)短冊を掛け、黄瀬戸花入れにフジバカマ(秋の七草)を活け、お客様をお迎えする準備は万端です。

給仕は法人評議員の波田野様や作楽荘茶々委員の職員の皆様、そして私の息子、併せて8名で対応しました。



お茶を一服どうぞ

他の会場では、入所者様の作品が綺麗に飾り付けられたり、バザーが行われたり、屋外の駐車場

ではキッチンカーや模擬店が並んでおり、お客様も色々な催しに目移りされているようでした。その流れで茶席もあつという間に満席となりました。

私は着物を着て、立札卓で抹茶を点て、お客様に呈茶致しました。給仕されていた波田野様は、入所者様一人一人にお声を掛けられていらつしゃいました。ある女性入所者様に波田野様が心を込めてお声掛けすると、その方は若い頃、茶道経験がお有りだったそうで、昔を懐かしみ、涙を浮かべ、何度も、何度もお礼の言葉をおっしゃっていました。

した。お互いに心が通じ合い、その場にいた皆が涙ぐんだ瞬間でした。

茶会はお陰様で大好評、約120用意したお抹茶と和菓子のセットは売り切れ、無事茶会を終了することができました。お手伝い頂いた皆さんと成功を喜び、大変良い一日となりました。

このような場を設けていただきました作楽荘の管理者様、波田野評議員様、茶々委員会の職員の皆様、そしてご来場下さいましたお客様に心より御礼申し上げます。



結構なお点前で

人 模 様

桜守る仲間ともう一度

社会福祉法人一誠福祉会 評議員 松 井 章 泰

桜の名所として知られる新城市の桜淵公園に千人規模のボランティアを集めて「復活 秋のさくら祭り」を、来年十一月十五日に開きます。園内のソメイヨシノなどが次の春にきれいな花を咲かせるよう市民が楽しく手入れするイベントで、十年ぶりの開催となります。

今回イベントを立ち上げました。

桜の木は、病気になった枝を切り落としたり、堆肥を与えたりすることで樹勢が回復します。ソメイヨシノの寿命は一般的に六十年程ですが、青森県の弘前公園ではりんご農家による大胆な剪定で、百年以上の古木でも多くの花を付けるといいます。

イベントでは、桜の木の根元から半径五メートルほどの周囲に深さ三十センチの穴を十〜十五個掘り、新東名高速道路の工事で伐採された樹木を発酵させた堆肥を与えます。参加者は一人五個穴掘りがノルマです。作業の前に専門家の桜談義も

あります。初めて実施した二〇〇八年十一月の参加者は三十四人でしたが、最終的には千人以上の参加となりました。自分が世話をした木が半年後にどうなるのか花見の楽しみを増幅させる効果が生まれ、参加された方は皆さん意欲的でした。

公共の大事なものを守るため住民の労働奉仕でどこまでやれるかがカギ。来年のイベントで地域の底力を再び結集したい。

あります。

初めて実施した二〇〇八年十一月の参加者は三十四人でしたが、最終的には千人以上の参加となりました。自分が世話をした木が半年後にどうなるのか花見の楽しみを増

幅させる効果が生まれ、参加された方は皆さん意欲的でした。



子どもの頃から大好きな桜淵公園に立つ松井さん（新城市で

まつい・あきやす 1971年、新城市出身。大学卒業後、建築会社勤務を経て独立。プロジェクト中は会社を離れて全力投球し、終了後は仕事の傍ら中部地方を中心にノウハウの普及に務めている。公益財団法人日本花の会評議員・三河の日本花の会会長。

令和 7 年 11 月 18 日 中日新聞掲載

回 顧

2025年の活動を振り返る

社会福祉法人 一誠福祉会 総務部長 青 山 勉

1 新役員体制スタート

理事定数を6名↓7名
評議員定数を7名↓8名に
増員。任期満了に伴う改選
により、左記役員が選出
承認されました。

理事 長 任期2年

滝川 一 亮 (重任)

理 事 任期2年

岩 崎 章 (重任)

後藤英夫 (重任)

青 山 勉 (重任)

小島寛晶 (重任)

滝川一徳 (新任)

鈴木恒也 (新任)

監 事 任期2年

佐藤敏和 (重任)

佐藤征子 (重任)

評議員 任期4年

高橋豊彦 (重任)

夏目 工 (重任)

波田野きくよ (重任)

平石康雅 (重任)

松井章泰 (重任)

三宅唯夫 (重任)

尾崎勝己 (新任)

高田孝典 (新任)

2 施設長就任

5月より、老人保健施設
ベルヴューハイツの施設長
兼医師で着任されました山
崎悟先生です。座右の銘は
「忘己利他」。自分を忘れ
て他人のために尽くすこと
です。



3 SNSはじめました

1月より、インスタグラ
ムとティックトックを一誠
福祉会として運用を始めま

した。施設の情報や求人な
ど盛り沢山です。フォロー
お願いします。

Instagram
@isseifukushikai1988TikTok
@isseifukushikai1988

4 介護テクノロジー導入

支援補助事業に係る機
器の整備

介護ベッド、通信機器

移乗支援ロボットを導入
し、職場環境改善の推進を
図りました。

5 定期的な内部監査実施

4月より本部主体で事業
所に訪問し、運営や会計の
内部監査を実施し、良質な
介護サービスの提供や、コ
ンプライアンスの遵守が図
られているか点検しました。

6 地域貢献の推進

「納涼祭」「音楽祭」「雲
母祭」「長寿祝賀会」「秋祭
り」「文化祭」など、各拠

点で積極的に地域と交流を
図りました。

7 茶道許状授与式再開

7月9日、5年ぶりの許
状授与式が豊橋三の丸会館
で行われました。新入職員
による一年間の茶道教室で
の成果が披露されました。
立派なお点前を披露するこ
とが出来ていました。



8 福利厚生会「木の花

会」職員旅行実施

10・11月、日帰り旅行(伊
勢神宮・館山寺)、一泊旅
行(京都)

イベント

新たな試みの秋祭り

特別養護老人ホーム作楽荘 事務員 小林 彩美

令和七年十一月三日、毎年恒例の秋祭りを作楽荘で開催いたしました。

当日は、晴天だったのですが、風がとても強くテントを張るのも苦労しました。作品展示や模擬店、バザー、文化茶会、キッチンカー、マッサージコーナー、餅投げと多岐に亘った企画のなかで、今回初めての試みが二つありました。

一つ目は、キッチンカーの導入です。白井荘長より、私が行事委員長になって直ぐにこの話があり、職員の負担軽減を目的として取り入れることになりました。実際に募

集をかけると、団子屋さんとクレープ屋さん二つのお店からご返事があり、ご参加いただきました。入所者様にも普段召し上がるできないものを提供することができて良かったです。



極上のスイーツはいかが

二つ目は、文化茶会で。後援会豊橋の協力の

もと一緒に企画しました。滝川副会長を始めとして三名様にお点前やお運びをご担当いただきました。

実際に間近でお点前を披露していただき、入所者様にとって貴重な体験になったと思います。来荘された方も「お抹茶やお菓子がおいしかった」と言われとても好評でした。

模擬店では、職員により焼き鳥やつくねを提供しました。一般の方も含め多くの方に購入していただけたようです。

マッサージコーナーでも多くの方に体験していただき、身体が軽くなりフレッシュできたとの喜びの声が聞けました。

バザーでは、整理券を求め、早くからお客様が並び、関心がとても高

かったようです。また多数の物品を協賛会社様からご寄贈していただきました。この誌面をお借りして御礼申し上げます。



こっちに投げてよ！

課題等はありませんでしたが秋祭りを無事に終了することができました。多くの方にご協力いただき感謝申し上げます。

木の花会

職員旅行でリフレッシュ

特別養護老人ホーム麗楽荘 事務員 安形 百絵

今年の職員旅行の行先は、日帰りで伊勢神宮・館山寺の二コース、そして一泊旅行の京都。私は十一月四・五日、京都の一泊二日の職員旅行に参加しました。

バスに揺られて最初に向かった目的地は、「黄桜伏見蔵」です。レストランで昼食をとったあとは日本酒・地ビール造りの工場見学です。映像や展示物を見て酒造りについて知ることができました。見学のあとは、売店でのお土産を買ったりビールの試飲で乾杯したりと楽しいひと時を過ごせました。

次に伏見稲荷大社へ行

き、添乗員さんがお話しされていた「おもかる石」を体験しました。願い事を念じて石を持ち上げ、その重さで運勢を占います。自分の予想よりも軽ければ願いが叶いやすい、重ければ叶い難いとされています。重くて持ち上げられない方もいたのですが、私は予想していた通りの重さで持ち上げられました。人によって感じ方が全く違うので面白かったです。

伏見稲荷大社の最大の見どころ、千本鳥居の周辺は多くの観光客で写真を撮るのも一苦労でした。朱塗りの鳥居がズラリと連なる光景は圧巻でした。



神秘的な景色でした

旅館の宴会では、食前酢で乾杯をして会席料理をいただきました。どの料理も絶品でしたが、特にカラフルな衣が付いた天ぷらが美味しかったです。カラオケでは仲間さん達が盛り上げてくれて楽しい時間を過ごせました。宴会の後にはゆっくりと温泉に浸かり日頃の疲れを癒すことができました。

二日目は、嵐山での自由散策です。天龍寺の紅葉は、昨今の夏の猛暑の



宴会で大盛り上がり！

影響で色づき始めといった程度でした。法堂の天井に描かれた「雲龍図」は、どこから見上げても目が合うように描かれた龍の迫力が印象的でした。

京都の街は、外国人観光客が多くインバウンドを実感しました。あつという間の二日間でしたが、日常とは少し違う時間を過ごすことで、心身ともにリフレッシュすることができました。ありがとうございました。

施設だより

作楽荘

○感染蔓延の季節

看護師 水野 京子

朝夕の寒暖差が大きくなり体調管理が欠かせない季節になりました。冬に向けてインフルエンザ、コロナウイルス、感冒とあらゆる感染症が出回っています。症状も同じで判別も難しく、感染対策の重要性が必要となってきました。

当施設では、感染症の基礎知識として持ち込まない、拡げない、持ち出さないを心掛けています。入所者様、利用者様が安心して生活・利用が出来るよう日頃から努力しています。それでも感染症

が発症し、罹患した職員・入所者様が出てしまっています。特に外部からの感染には気を付けていますが、感染者が出てしまうと、入所者様には行動制限を強い、職員にはマニキュアに沿ってゾーニングなどいつもと違う処遇により、さらに仕事量が増え、身体的・精神面で苦勞を掛けてしまいます。そうならないよう施設全体で常に感染対策に関して共通認識を持ち、委員会や訓練を実施・継続しています。

手指の消毒

マスクの着用

手洗いうがい



ショートステイ作楽荘

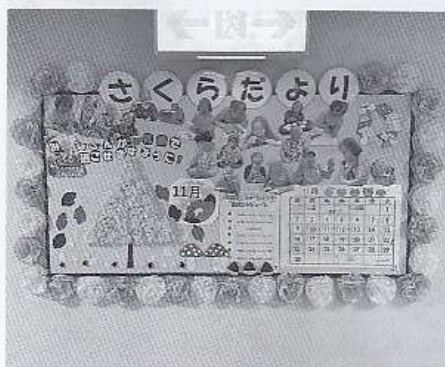
○不安と安心

介護士副主任 久保田 温美

特養からショートステイへ異動後、介護士副主任となり約半年が経ちました。当初は責任の重さに不安もあり、自分には荷が重すぎると感じていましたが、その後、ご利用者の皆様や荘長・職員の方々に支えられ、少しずつ自分の役割を実感できるようになりました。

ある日、利用者様から私の名前を呼ばれ、「いつもありがとうございます」と笑顔で言ってくれました。その時の私は、とても嬉しい気持ちになりました。自分の名前を覚えてもらっていたこと、そしてその後言ってくれた

「ありがとう」という言葉に、この仕事のやりがいを感じる事が出来ました。まだ不安になることも多いですが、利用者様に安心して過ごしてもらえるように、日々の些細な会話や笑顔、きめ細かな気配りを大切にしていきたいと思っています。さらに他職種協働で、温かい雰囲気作りと信頼されるケアを目指し、副主任としての責務を果たせるよう、もっと頑張りたいと思います。



手作りのカレンダー

美光ハイム

○美光喫茶と自己紹介

介護士 滝川 和良

十一月三日の秋祭りに私たち美光ハイムでは、六階食堂にて美光喫茶を催しました。

入居者の皆様を三グループに分け、来店して頂きましたが、待ちきれずに開店時間前に来られる方もいらつしやいました。席に案内して注文をとり、好きな飲物や食べ物を飲食しながら、一緒に来店したお仲間やご家族で楽しそうにお喋りを楽しんでおられました。皆様ご自分の注文した物が手元に届くと美味しそうに召し上がっていました。皆様の笑顔を見ると、来年もまた開催出来たらと思

います。

私事ですが、十一月に麗楽荘より美光ハイムに配属になりました。早いもので法人に入職して二十六年半が経ちました。その間には、いろいろな経験や思い出があり、今に至ります。ちなみに趣味はと言えば無趣味に近いですが、あえて言えば、昔はカラオケと答えていました。しかし最近「推し活」です。こんな私ですが、これからもよろしくお願いします。



食欲が増します

倶楽荘

○秋の味覚

介護士 田中 友梨

十一月のイベントランチを担当することになり、どうしようかと考えていると、「秋の味覚を使った料理を作ろう」と思いつき、秋の食材のきのこ・かぼちゃ・さつまいもを使った料理を作ることになりました。

きのこの味噌汁、かぼちゃコロッケ、さつま芋ご飯を作り、お粥の方々にはかぼちゃを裏ごしして混ぜたお粥を提供しました。

手作りしたご飯を食べた方から、「いつもよりおいしくてたくさん食べ

ちゃった」、「美味しいねえ」、「久しぶりにかぼちゃとさつま芋ご飯が食べれた」と感想をいただきました。他職員からは「ご飯の摂取量がいつもより多かったよ」と報告もあり、すごく嬉しかったです。

寒い時期になり、インフルエンザや風邪が流行する季節です。これからも工夫した美味しいご飯で栄養を摂ってもらい、元気に過ごしていただけることを願います。



秋の味覚を堪能

GHくらら

○秋の合同運動会

介護士 本田 美由紀

感染症の関係で昨年度はユニット合同での開催を控えていましたが、今年度は、ユニット合同で秋の運動会を開催することになりました。ご利用者の皆様に楽しんでもらえるような種目を考え、牛乳パックタワー・玉入れ・パン食い競争を企画。

牛乳パックタワーでは二対二でどちらが時間内に高く積めるか競争しました。皆様競争となるとやる気満々で楽しそうに積んでいました。

一番盛り上がったのはパン食い競争でした。手を使わず口でくわえることが難しく、つい手を使

いたくなり苦戦している皆様の笑顔が素敵でした。勝利は一点差でAグループが勝利しました。皆様の取ったパンはおやつで頂きました。



ズルはだめですよ

準備は大変でしたが、皆様の笑顔や楽しそうな大きな声を聞けて、頑張った準備した甲斐がありました。

来年は、ご家族の方々にも参加していただき、より多くの方々と楽しみたいと思います。

新楽荘

○笑顔の運動会

介護士 二見 広子

十一月十八日、穏やかな秋の一日、荘内の運動会を実施しました。

普段はあまり触れ合えない他のユニットの方とも楽しくプレーされました。

玉入れでは物静かで無口な方が手を思いきり伸ばし、器に入った五球を器ごと一気に入れてしまおうと大奮闘。いつもとは違う一面を垣間見る場面もありました。

輪投げにおいては、みんなの応援に、目を凝らし身体を伸ばし、ここぞとばかりにポールめがけて真剣勝負。

「上手、上手」「もうち

よつと」ハチマキ姿の皆様を鼓舞する拍手喝采に大盛り上がりでした。

昼食は運動会での定番メニュー、助六・干瓢巻き・唐揚げです。少し運動した後でしたので皆様ペロリと平らげていました。

体操服を着たお子さんやお孫さんとの懐かしく楽しい昔の一場面を思い出されていたのでしょうか、満面笑みが溢れていました。



笑顔が自然と零れます

ベルヴューハイツ

○家族と笑顔の瞬間

介護士副主任 湯浅 順一

今回初めての試みとして、『家族とハロウィン仮装撮影会』を実施しました。本企画は、ご入居者様とそこご家族様に、素敵な思い出を作って頂くきっかけになればという想いを込めて準備を進めました。

今回は一家族、三十分単位の完全予約制で行いました。予約は全て埋まり、十四組（計四十名ほど）が参加してくださいました。あるご家族は、玄孫も含め十名も集ってくださいさる所もありました。久々の再会に涙される方、話に花が咲き時間を押してしまう方、せっか

く息子さんが見えたのにお母様と話が弾まない方もいて、現場があたふたすることもありました。

ハロウィンは高齢者の方には馴染みのないイベントかと思えます。今回はその様な世間のイベントに便乗した企画が出来たかと思えます。ハロウィン仮装撮影会での写真が入居者様とご家族様にとって、忘れられない素敵な思い出の一ページになると嬉しいです。



ハッピーハロウィン!!

ベルヴューハイツ

○文化祭でお茶を嗜んで

介護士 杉浦 智彌

十一月五日に令和七年度文化祭を行いました。今回は文化の日に因ってお茶会を開催致しました。ベルヴューハイツの職員でお茶の心得を会得した職員が亭主を行ない、お客様を入居者様にお願いし行ないました。

いざお茶会が始まると、場の雰囲気は静寂な空気に包まれ、皆様真剣な眼差しで参加されていました。中には会記を食い入るように見ている方もいらっしゃいました。お客様をしてくださった入居者様用に椅子を用意していましたが、「お茶を頂く

のに正座じゃなくては失礼にあたる」と椅子を自ら取り除かれ正座し、「これがお茶の心得だよ」と職員に教えてくださいました。

最後に皆様に感想をお伺いしたところ、「普段見ることのないお茶会に参加でき、お抹茶・栗きんとんがとても美味しかった」とお言葉を頂きました。今後も皆様に楽しんで頂けるようなイベントを計画していこうと思います。



マナーは大事

○DSC吉かわ

○春夏秋冬

介護士 市川 知恵

月日が経つのは早いもので、「あっ」という間に師走を迎えました。DSC吉かわでは、年明け早々の書き初めから一年の行事がスタートします。書き初めは、その年初めて毛筆で文字を書くお正月の伝統行事であり、気持ちを新たにし、集中力を養う効果があるとされています。以降も節分、花見、お楽しみ会に夏祭り、そして長寿祝賀会など、季節に応じた多彩な行事を、担当者が毎月企画・開催してきました。直近では文化の日の前後に、レクリエーションで制作した一年分の作品

を館内の壁に展示し、改めて皆様に披露し、その色鮮やかな空間で、菅沼美喜子先生のご指導によるミニフラワーアレンジメントも開催しました。残すは年内最後のイベントであるクリスマス会と紅白歌合戦。皆様から「楽しかった」とのお声と素敵な笑顔をいただけるよう、心を込めて準備を進めてまいります。来る年も頑張らねば。



どうやってやるんだん？

○麗楽荘

○麗楽祭での交流

介護士 酒井 優斗

十一月三日、麗楽祭を行いました。一階には特養麗楽荘、和光ハイムの利用者様の作品が掲示、そして中庭も含めた職員による模擬店やキッチンカーでの販売、午後には駐車場で餅投げがありました。

一階に降りると早速掲示物の前に行き、作品を背景に写真を撮っていました。

また、利用者様が職員と模擬店に行った時には、「すごくおいしそうだね」と、商品を見ながら嬉しそうに購入していました。その場で食べたり、模擬店を見回ってから持

ち帰って食べたりと、皆様思い思いに過ごされていました。

午後から和光ハイムの正面玄関の上のベランダから餅投げがありました。二階・三階の和光ハイムの利用者様やそのご家族様も一緒に参加され、特養の車椅子の方が「まだかな、もう始まるかな」と、今か今かと楽しそうに待っておられました。

挨拶が終わって開始の合図で一斉に拾い始め、「こんなに取れた」、「もっとやりたかったね」と、利用者様はご満悦そうでした。

利用者様との交流を深めることができ、良き思い出になったのではないのでしょうか。



デイサービス麗楽荘

○レクリエーションの重要性

介護士 峯野 愛香

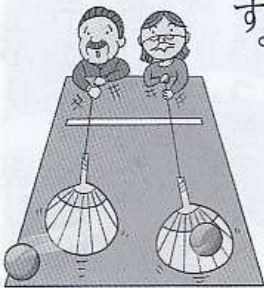
デイサービスや老人ホームなどの施設では、リフレッシュや機能訓練を含めたレクリエーションが頻繁に行われていきます。行われるレクリエーションは、施設の特性によって異なり、高齢者の生活の中で重要な役割を果たしています。

脳を使ったり、手先を使うレクリエーションを通じて、認知機能の維持や充実した生活を送れるメリットが期待でき、高齢者同士の交流や社会的な繋がりを促進する効果、心身の健康を維持、向上する事もできます。つまり、運動不足を解消、認知機能刺激、

他者とのコミュニケーション、気分をリフレッシュさせる、というのが目的です。

当事業所では、カラオケや音楽で聴覚を刺激、風船バレーや風船渡し、玉入れなど、誰でも気軽に参加できる運動。脳トレに、点つなぎや簡単な計算ゲームをして脳を刺激する。他にもイントロクイズ、連想クイズ、もちろん、折り紙や塗り絵もあります。

参加者の要望を積極的に取り込んで、皆様のためのレクリエーションにしていく事を大切に、スタッフからの心配りを忘れずに行って参ります。



和光ハイム

○バスハイクで良き一日を

相談員 川上 裕之

十月八日、久しぶりのバスハイク、外出で昼食をいただきます。この所天気は悪く朝も雨でしたが出発時には雨もあがり、四台の車は目的地の浜松市舘山寺に向け走り始めました。一時間程で到着しました。この時には天気が嘘のように晴れて、気温も程よく暖かく過ごしやすいなっていました。

早速、浜名湖かんざんじ温泉「華咲の湯」の浜八景レストランで食事です。華咲御膳や浜名湖産うなぎなど、予約していた食事をおいしそうに召し上がられていました。

食後はホテルで買い物、お土産を沢山買われていました。

少し休憩をはさみ、次は浜名湖の遊覧船に乗って優雅なひと時を過ごしました。船の中に水が入ってくるトラブルもありましたが、皆様、笑顔で満喫されていました。帰りはお疲れのせいか、車中でお眠りになられた方が多かったです。



「華咲の湯」1階広間にて

GHうらら

○秋の大運動会

介護士 伊藤 彩乃

十月十六日に毎年恒例の秋の大運動会を開催いたしました。種目は輪投げ、玉入れ、パン食い競争です。赤と白のチームに分かれて得点を競い合いました。輪投げは点数の高い順にお菓子の景品が違うので、皆様勝つために夢中で輪を全力で遠くに飛ばしていました。二種目の玉入れはかごを床に置き、入居者様と新聞紙で丸めて作った玉を均等に参加者に渡し、職員の掛け声とともにかごの中に入るよう投げっていました。

「どれくらい玉入った？」と入居者様同士話

が盛り上がり、楽しんでいただき良かったと私も改めて感じました。

そして、いよいよ皆様お待ちに待ったラストフイナーレのパン食い競争です。三種類のパンをつるし上げて一レース二名ずつで勝負、必死にパンを取り合う姿に皆様大笑いでした。

来年の運動会をもっと種目を増やして皆様に喜んでいただきたいと思います。



メインイベントです

奇楽荘

○輪投げ大会

介護士 田中 綾乃

今年の奇楽荘の運動会では各ユニット合同で輪投げ大会を開催しました。

輪投げをやったことのない方や子供の時以来だと上手に入るか緊張している方もみえました。投げ始めると「頑張れ!」「惜しい」「どうしたら入る?」など隣同士や遠くからも声援が飛び交い、賑やかな雰囲気でした。ご自分で投げることが難しい入居者様は職員がサポートし一緒に投げることもできました。入った時には「入った!」と笑顔がみられ周りからの拍手も聞こえました。他の方が投げている時に「昔

はやつただけだね」と談笑している様子も見られました。

普段あまり顔の合わせる機会の少ないユニットで、このような催しで集まることにより交流を図ることができ、良い刺激になったと思います。

「またやってね」との声も聞かれ、ユニット同士の交流の機会を増やしていけたらと思います。



狙って狙って~!!

GHきらら

○麗楽祭に参加して

介護士 石橋 加奈子

十一月三日、午前、午後に麗楽祭に出掛けました。麗楽荘に入ると廊下や壁に所狭しと、並べてある入所者様の力作の数々が目に飛び込み、「上手だね」「手が込んでいるね」と感心しながら鑑賞しました。その後お団子やポテトを購入。

屋外では鳳来中学の生徒さんによる長篠陣太鼓の華麗なばちさばきに見とれ、その力強い演奏にしばらくの間聴き入ってしまいました。

午後からは、新城市ほうらい吹奏楽団の方々による演奏に手拍子したり、口ずさんだり、一緒に歌



心に響く演奏でした

ったりして楽しみました。そして餅投げの前にケーキを食べ、エネルギーを補給し、始まるのを待ちました。外に出ると袋を片手に持った大勢の人がすでに集まっていた。餅投げが始まると同時に一斉に落ちてくる餅やお菓子の争奪戦が始まり、あつという間に餅投げが終わりしました。怪我もなく、楽しく麗楽祭に参加でき、笑顔で過ごす事ができた一日でした。

本部 日誌

令和7年11月

- 4日 木の花会二泊旅行第3班(於京都、5日)
- 11日 企業説明会(ハローワーク)
- 12日 木の花会日帰り旅行第4班(於館山寺)
- 14日 コロナワクチン接種(於作楽荘・美光ハイム・倶楽部)
- 19日 本部会議(於作楽荘)
- 21日 庄内茶々研修(於作楽荘)
- 21日 コロナワクチン接種(於麗楽荘・和光ハイム・奇楽荘・GHきらら)
- 26日 庄内茶々研修(於麗楽荘)
- 26日 第四回理事会(於ホテルアークリッシュ・豊橋)
- 26日 庄内茶々研修(於B・V・H)
- 26日 ハラスメント研修(伊藤博講師 於B・V・H)
- 令和7年11月
- 3日 秋祭り
- 4日 出前講座 なかよし会(包括 於中野校区市民館)
- 5日 中野校区民生委員定例会(包括 於中野校区市民館)
- 6日 外出行事(於のんほいパーク)
- 6日 一体化事業 有楽田心会(包括 於有楽町公民館)
- 8日 介護予防大会(包括 於豊橋市公会堂)
- 10日 宝陵高等学校介護実習(特養、21日)
- 11日 給食会議
- 11日 宝陵高等学校介護実習(デイサービス、14日)
- 12日 広域的ケア会議(包括 於清水センター)
- 14日 藤ノ花フェスタ参加
- 14日 福岡校区民生委員定例会(包括 於福岡校区市民館)
- 15日 寿司祭り
- 17日 焼き芋会
- 18日 宝陵高等学校介護実習(デイサービス、21日)
- 19日 職種別会議(主任ケアマネ、渡邊副主任 於清水センター)
- 19日 茶話会(居宅 於清水センター)
- 19日 B・C・P 感染症対策セミナー(包括 オン

作楽荘 日誌

令和7年11月

- 25日 ライン
- 25日 職種別会議(社会福祉士、有馬主任・大塚 於豊橋市役所)
- 26日 誕生日会
- 27日 連絡会議
- 27日 出前講座 小浜長寿会(包括 於小浜神社)

美光ハイム 日誌

令和7年11月

- 2日 カラオケクラブ(16・25日)
- 3日 秋祭り
- 7日 焼き芋会
- 9日 バステル画(24日)
- 9日 みんなで歌う会(23日)
- 10日 園芸クラブ
- 12日 モーニング外出(15・20日)
- 12日 アフタヌーンコンサート
- 20日 健康体操クラブ
- 24日 定例会
- 24日 健康チェック

倶楽部 日誌

令和7年11月

- 4日 Aユニット会議
- 5日 移動スーパードット会議(毎週水曜日)
- 8日 イベントランチ
- 11日 運営推進会議
- 18日 Bユニット会議
- 19日 B・C・P 防災訓練(津波想定)
- 24日 イベントランチ
- 25日 誕生日会
- 25日 Cユニット会議
- 26日 リーダー会議
- 27日 訪問理美容(きれいや)
- 28日 倶楽部連絡会議

GHきらら 日誌

令和7年11月

- 2日 誕生日会
- 5日 移動スーパードット会議(毎週水曜日)
- 11日 運営推進会議
- 19日 B・C・P 防災訓練(津波想定)
- 25日 お菓子作り
- 27日 訪問理美容(きれいや)
- 28日 作楽荘連絡会議参加
- 28日 倶楽部連絡会議

ス楽荘日誌

令和 7 年 11 月

- 3日 ス楽荘連絡会議
4日 職員健康診断(～6日)
11日 寿司祭り
12日 Bユニットミーティング
14日 運営推進会議
15日 傾聴ボランティア来荘
18日 リーダーミーティング
20日 されい(散髪)
27日 作業社連絡会議参加
イベントランチ

ベルビューハイツ日誌

令和 7 年 11 月

- 5日 文化祭
7日 えがおラボ打ち合わせ(山崎 於 新栄公民館)
8日 介護予防大会(菅沼 山崎 数井 於 豊橋公会堂)
11日 職種別会議(主任ケアマネ)(堀内主任 オンライン)
12日 豊橋看護学生実習(15日)
14日 茶話会(堀内主任 於 ライフポート)
18日 認知症サポーター講座(堀内主任 菅沼副主任 山崎 数井 於 豊橋看護学校)
25日 職種別会議(社会福祉士)(菅沼副主任 於 豊橋市役所)
27日 連絡会議

DSC吉かわ日誌

令和 7 年 11 月

- 6日 フラワーアレンジメント講座(菅沼美喜子講師)
7日 消防設備点検(常友保守センター)
10日 季節の花週間(～15日)
17日 焼き芋週間(～22日)
18日 虐待防止委員会
19日 水質検査(イズミテック)
20日 防災委員会
22日 感染対策委員会
BCP委員会
ミーティング
研修(冬の感染症)感染対策委員会)

28日 習字教室(佐藤征子講師)



麗楽荘日誌

令和 7 年 11 月

- 3日 麗楽祭
4日 移動販売(シャローム)
介護職員初任者研修実習(黄柳野高校 2名)
10日 介護実習(宝陵高校2年生4名)
11日 移動販売(もつくる新城)
介護実習(宝陵高校1年生2名)
給食会議
17日 誕生日会食
18日 介護実習(宝陵高校1年生1名)
21日 茶々接遇委員会社内研修
25日 移動販売(もつくる新城)
26日 感染症・BCP委員会社内研修
28日 連絡会議
入所判定会議

和光ハイム日誌

令和 7 年 11 月

- 3日 麗楽祭
4日 移動販売(シャローム)
5日 訪問リハビリ
6日 体操教室(今泉勝代講師)
10日 親睦会
11日 移動販売(もつくる)(25日)
14日 茶白山厚生病院定期受診(17日)
19日 訪問リハビリ
20日 体操教室(今泉勝代講師)

GHIYU日誌

令和 7 年 11 月

- 1日 矢部八幡神社清掃
3日 麗楽祭参加
10日 紅葉狩り(鳳来寺山、～15日)
13日 焼き芋会
25日 誕生日会

奇楽荘日誌

令和 7 年 11 月

- 1日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)
3日 麗楽祭参加
18日 運営推進会議
29日 紅葉狩り

GHIYU日誌

令和 7 年 11 月

- 2日 作品展鑑賞(新城文化会館)
3日 麗楽祭参加
4日 訪問診療(宇利)
6日 訪問診療(宇利)
9日 八名エコー外出(ふるさと会館)
16日 新城歌舞伎鑑賞(新城文化会館)
17日 好日庵・運営推進会議
23日 俺ん家食堂
24日 ユニット会議(吉祥)
25日 八名こども園合同芋ほり会
27日 第4回運営推進会議
30日 ユニット会議(宇利)

作楽荘グループ・BVHグループ・麗楽荘グループ・GHIYUグループ



グループ・GHIYUグループ・GHIYUグループ

施設概要・ブログ等を公開

UD
FONT見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。環境にやさしい
植物油インキを
使用しています。

編集後記

今年の流行語大賞は、首相の言葉(当時自民党総裁選出直後)、働いて×5でした。時代に逆行する発言と捉えられ、賛否を呼んだのは記憶に新しく、過去を遡ることバブル時代にCMから生まれた「24時間戦えますか」が流行したことも私自身未だにインプットされています。

ゆく年くる年、時代とともに変わるものは多岐に亘りますが、同時に人間関係や倫理観は普遍的に変わらず存在し続けます。こういった不易流行の側面を見極めることで、激動の介護業界でも変化に適応しつつ、持続的に発展を遂げることで一誠福祉会はこれからも社会福祉に寄与してまいります。来年もどうぞよろしくお願い致します。(H・K)